

伊丹市健康づくり計画（令和3年度～令和10年度）中間見直し（案） に係るパブリックコメントの実施結果について

「伊丹市健康づくり計画（令和3年度～令和10年度）」（案）に係るパブリックコメントの実施結果について、この度お寄せいただきましたご意見と、それに対する本市の考え方を下記のとおり取りまとめましたので公表します。

- 1 案件名 伊丹市健康づくり計画（令和3年度～令和10年度）中間見直し（案）
- 2 募集期間 令和6年12月23日(月)～令和7年1月21日(火)【30日間】
- 3 資料閲覧場所 1階まちづくり推進課、各支所・分室、くらしのプラザ、図書館「ことば蔵」、「ふらっと」人権啓発センター、東館1階行政資料コーナー、保健センター
- 4 意見提出方法 所定の意見記入用紙等に住所（市外在住の人は住所のほか勤務又は通学先の住所・名称）、氏名（団体の場合は氏名のほか団体名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地）、意見を記入のうえ、健康政策課へ直接または郵送、ファックス、ホームページによる提出
- 5 提出件数 7件（3人）

郵送	ファックス	電子申請	持参	計
0件（0人）	7件（3人）	0件（0人）	0件（0人）	7件（3人）

6 提出されたご意見および本市の考え方

提出者 No.	意見 No.	意見内容	市の考え方
1	1	「『身近な地域で安心して必要な医療を受けられるまち』をめざして取り組んでいる」とありますが、近畿中央病院がなくなろうとしています。今まで自宅から近い近畿中央病院に通院していた方がとても不安がっておられます。ぜひ近畿中央病院の跡地に総合病院の誘致をお願いします。	<p>誘致する民間医療機関につきましては、地域医療構想に基づき、回復期機能を提供していただくことを、誘致に係る基本的考え方としております。令和6年度～令和7年度の2カ年に掛けて、伊丹市により阪神医療圏域内の医療機関に対して「事前アンケート調査やヒアリング等」を実施し、外来機能を含めて、具体的にどのような診療機能等を提供していただけるのかにつきましては、このアンケート調査やヒアリング等を通して確認することとしております。</p> <p>跡地への医療機関の誘致につきましては、今後も引き続き、早期の実現に向け、公立学校共済組合と連携して取り組んでまいります。</p>
2	2	介護が、今、受けづらくなっています。安心して伊丹で老後をむかえられます様にどうか国に意見を上げてください。又、伊丹市内での老健施設を増やして下さい。	<p>「介護が受けづらくなっている」と感じておられるとのことですが、本市では適切な要介護認定と過不足のないサービス提供ができるよう介護保険制度の適切な運営に努めております。介護についてお困りのことがあれば、介護保険課へご相談ください。</p> <p>施設整備につきましては、令和22年までの高齢者人口や介護ニーズを見据えた中長期的な施設整備計画として、第9期計画期間中に小規模多機能型居宅介護または看護小規模多機能型居宅介護事業所3か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1か所、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特別養護老人ホーム）1か所、認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）1か所を整備することとしており、介護老人保健施設は対象としておりませんが、高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるように介護予防に資する健康づくりに取り組んでまいります。</p>

	3	p27 の 0~5 才のこころの健康のところですが、現在はテレビの視聴よりもユーチューブの視聴が多くなっています。ぜひ若い子育て世代に啓発をお願いします。	乳幼児期（0~5 歳）の具体的な取り組み⑤こころの健康の行政の取組にある「・テレビ等の長時間視聴が健康に与える影響について普及・啓発」について、テレビに限らずご意見いただきましたユーチューブの視聴をはじめスマートフォンの使用等含め広く啓発してまいります。
	4	p31 の 6~18 才のこころの健康のところですが、今、学校でタブレット教育がすすめられていますが、健康面からみて問題は、ないのでしょうか？	<p>タブレット端末につきましては、個別最適な学びや協働的な学びを推進するため、日常的に活用しているところです。</p> <p>健康面に配慮した指導については、令和4年3月に文部科学省が改訂した「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」に沿って、各学校において行っているところです。</p> <p>今後も、家庭とも連携しながら健康に配慮したタブレット端末の使用について推進してまいります。</p>
	5	現在、不登校のお子さんが増えています。子どもさんや保護者の方の心の相談にのれるように相談員を増やしてください。	<p>本市においては、市内全小、中、高等学校に S C (スクールカウンセラー) を配置したり、全小、中学校に S SW (スクールソーシャルワーカー) を配置したりするなど、S C、S SW のもつ専門性を活かした組織的な対応に努めているところです。また、総合教育センターでは児童生徒が抱える様々な悩みを解消するために、専門医、臨床心理士等による面談を実施しております。</p> <p>今後、相談に関する事業をより充実させられるよう、研究してまいります。</p>
2	6	私達家族は 22 年前に今の地に越してきました。大きな病院と公園があり、老後は安心だと希望を持って。しかし近畿中央病院が市民病院に統廃合されるという発表に言葉もありませんでした。	市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編におきましては、阪神北準圏域で不足する高度急性期機能を統合新病院において提供し、将来にわたり安定的で持続可能な地域医療体制の構築を目指していく計画としております。ま

		<p>伊丹市南部の医療を手厚く年をとつてもこの伊丹で安心して暮らせるようにどうぞ地域住民が頼れる医療機関を誘致して頂けますよう切に願います。</p>	<p>た、統合新病院では、救命救急センターの指定を受けることを検討し、現在の市立伊丹病院の倍以上の救急車の受入れを可能とする体制整備に取り組んでおります。</p> <p>両病院が統合することで人員体制を強化し高度化することにより、市外で入院されている市民の皆さまが、住み慣れた市内で安心してご入院していただけるよう、地域の医療を守るために、統合することが最適な選択肢であるとの結論に至りました。</p> <p>跡地への医療機関の誘致につきましては、今後も引き続き、早期の実現に向け、公立学校共済組合と連携して取り組んでまいります。</p>
3	7	<p>伊丹市健康づくり計画（案）</p> <p>いい事が書いてあるが文言の中に自助・共助は表記されているが、公助がなく行政のサポートがないのが不安です。</p>	<p>ご指摘の記述につきましては、当見直し案 16 ページ中、基本方針のうち「③自助・共助による健康づくり」部分と推察しますが、公助たる行政のサポートにつきましては、同基本方針「①健康寿命の延伸」では「生涯にわたり、自らが望む生活を送れるよう自分自身の健康管理に積極的に取り組める環境を整備するとともに、健康づくりを支援し健康寿命の延伸を図ります。」として市の方針を記載しておりますとともに、具体的には、21 ページ以降の各ライフステージ別に「個人・家庭・地域の取組」に対して「行政の取組」として記述しているところです。</p>